

## 半期のサービス提供実績(2016年3月～2016年8月)

## I 上半期事業・活動実績

## (1) 施設部門 ※延べ人数

	事業名称	3月		4月		5月		6月		7月		8月		合計
		1人	2人	1人	2人	1人	2人	1人	2人	1人	2人	1人	2人	
①	特別養護老人ホーム阿品清鈴 (稼働率)	1581		1610		1651		1577		1585		1557		9561
		94.4		99.4		98.6		97.3		94.7		93.0		
②	ケアハウスささえ (空室数※月末時点)	884		881		862		796		883		899		5205
		1人	2人	1人	2人	1人	2人	1人	2人	1人	2人	1人	2人	
		1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	

## (2) 在宅部門 ※延べ人数

	事業名称	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
		(稼働率)	(稼働率)	(稼働率)	(稼働率)	(稼働率)	(稼働率)	
①	短期入所生活介護事業所第2清鈴園(ショートステイ) (稼働率)	527	474	480	451	482	466	2880
		106.3	98.8	96.8	94.0	97.2	94.0	
②	デイサービスセンター第2清鈴園(一般型) (1日の平均利用者数)	533	515	555	569	568	568	3308
		19.7	19.8	21.3	21.8	21.8	21.0	
③	デイサービスセンター第2清鈴園地御前北2丁目集会所(愛称:お～い予防教室)(1日の平均利用者数)	24	26	33	23	31	38	175
		6.0	6.5	6.6	5.8	7.8	7.6	
④	デイサービスセンター第2清鈴園本町集会所(通称:本町デイ) (1日の平均利用者数)	37	30	30	38	28	36	199
		7.4	7.5	7.5	7.6	7	7.2	
⑤	デイサービスセンター第2清鈴園廿日市一丁目集会所(通称:廿日市デイ) (1日の平均利用者数)	12	12	11	15	15	12	77
		3	3	2.75	3	3	3	
⑥	認知症専用デイサービスセンター第2清鈴園(愛称:ここの音) (1日の平均利用者数)	170	168	175	177	189	190	1069
		6.29	6.46	6.73	6.81	7.27	7.04	
⑦	訪問介護事業所第2清鈴園 (身体) (生活) (居宅介護)	272	264	261	283	276	275	1631
		290	277	304	322	314	333	1840
		37	22	20	20	19	15	133
⑧	居宅介護支援事業所第2清鈴園 ※実人数	177	182	181	179	178	181	1078

## (3) その他

	事業名称	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
①	廿日市市配食サービス (食数) (ボランティアによる配食数)	57	58	56	54	54	52	331
		579	581	552	524	541	579	3356
		272	264	263	281	269	296	1608
②	認知症高齢者家族やすらぎ支援事業 (訪問回数)	46	37	33	46	44	47	253
③	出張介護教室 (開催回数)	0	0	1	0	1	0	2

	(参加者数)	0	0	36	0	20	0	56
出前コグニサイズ研修	(開催回数)	0	1	1	0	0	1	3
	(参加者数)	0	60	12	0	0	35	107

## II ボランティア活動状況

### 1. ケアセンター

種類	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
定期活動(延べ人数)	50	44	37	46	40	35	252
不定期活動(延べ人数)	15	32	16	33	8	34	138

※ 特養、デイサービスセンター、ケアハウス、イベント、各サービスの外出介助など

### 2. さろん阿品

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
延べ人数	31	24	26	27	22	24	154

### 3. 配食サービス(ボランティアの方にお弁当の配達、見守りしていただいた件数)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
件数	272	264	263	281	269	296	272

## III 期間中の主な出来事など(行事予定表から事務局が記入)

月	日	内 容	時間	場所	人数
3	10	※階層別研修「中堅1研修」	9:30~17:30	研修ホール	4
3	17	消防訓練(夜間想定)	16:30~17:30	全館	
3	19	※2016年度ボランティア感謝会	13:30~15:30	研修ホール	51
3	19	職場体験(ハーモニーOGB)	13:30~15:30	館内	2
3	27	廿日市高齢者ケアセンター20周年記念講演会	13:30~16:00	研修ホール	170
4	2	※特養清鈴園・阿品清鈴合同花見	10:30~12:00	あいプラザ	5
4	13	運営推進会議プレ会議	10:00~12:00	会議室	13
4	20	個人追悼祈念会	10:45~11:30	2階食堂	
4	21	※配食関係者連絡会・試食会	12:00~15:00	研修ホール	23
4	28	出張コグニサイズ研修	13:30~15:00	サントピア大竹	60
5	9	ケアハウス健康教室(外出)	10:00~15:00	そば処 花や	10
5	9~11	※階層別研修「新任研修」	9:00~12:30	清鈴園 ケアセンター	5
5	19	岩国YMCA 国際医療福祉専門学校介護福祉士科1年生高齢者総合福祉施設見学	10:00~11:30	全館	17
5	20	出張介護教室(阿品二丁目元気サロン)	10:40~11:30	阿品市民センター	36
5	21	職場体験(ハーモニーOGB)	13:30~15:30	館内	2
5	27	出張コグニサイズ(三景園サロン)	9:30~10:30	地御前北2丁目集会所	12
5	27	鍋奉行によるランチ提供	9:40~14:00	喫茶ポッポ	
6	8~ 7/13	廿日市市介護予防・生活支援員養成研修		研修ホール、会議室、実習先	15
6	9	※階層別研修「中堅2研修」	9:00~18:00	会議室	6

6	17～ 8/12	2016年度第1回やすらぎ支援員養成基礎 研修開講	研修ホール、会議室、実習先		7
6	20～ 23	日赤広島看護大学「在宅看護論」実習	9:00～17:00	在宅部門	4
7	8	特養・ケアハウス参議院不在者投票			
7	14	※階層別研修「中堅2研修」	9:00～18:00	研修ホール	6
7	15	福岡市城南区早良区民生児童委員協議会 視察研修	9:45～11:15	研修ホール	24
7	16	職場体験(ハーモニーOGB)	13:30～15:30	館内	2
7	21	出張介護教室(西悠々クラブ)	11:00～12:00	ナター-コミュニティールーム	20
7	21	※配食サービス関係者連絡会	13:30～15:00	市民活動センター	13
7	28	カフェなかま第1回開催	13:00～15:00	喫茶室	
8	3	8・6集会	10:30～11:30	研修ホール	
8	8	※階層別研修「指導者層研修」	9:00～18:00	会議室	9
8	11	廿日市高齢者ケアセンター夏祭り	18:00～21:30	ケアセンター駐車場	430
8	19	出張コグニサイズ	10:00～12:00	あいプラザ	35
8	19～ 26	キャリアスタートウイーク(大野東・阿品台中学)	8:55～16:00	特養・デイ	4
8	30.31	福祉職場体験(廿日市中)	9:00～15:00	特養・デイ他	12

## 《サービス向上受付票の受付実績》(委員会資料より事務局が記入)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
ケアセンター	1	1	2	0	1	0	5

## ※ 申し出内容及び対応の概略

No.	申し出内容	申し出者	対応	再発防止策
2015 年度 No.13	ショート初回利用の様子伺いにケアマネが訪問すると、「不安でしょうがなかった。どうしたらいいのかわからない」と言われた。	利用者	ショート担当者がお詫びし、居室、荷物、ナースコールなどの説明を行った。後日、ケアマネとショート担当者がご自宅を訪問し、謝罪、マニュアルの徹底、再度、安心できる施設づくりに取り組んでいくことを伝える。	内部で再度マニュアルの説明と確認をする。
2016 年度 No.1	ショート利用のNさんが居室トイレにパットを誤って流した(?)ことで、トイレが詰まり、1階フロアまで水浸しになった。	職員	職員が清掃し、消毒を専門業者に依頼した。汚染していた認知症デイサービスは、清掃中の2日間、別室で行った。	居室に水が漏れると、1階まで影響が出る事を再確認し、1階との報連相の必要性を確認した。
2	ご家族より、ケアマネを替えて欲しいとの依頼あり。直してほしいと	家族	申し出者にお詫びし、担当の変更を了承した。この度の申し出の対象となったケアマネは、コミュニケ	事業所として、アセスメントの重要性と利用者の立場に立って

	<p>伝えたことが直らない。伝えたことが伝わらないので。</p>		<p>ーションが上手くとれてなかったことを反省した。</p>	<p>タイムリーに動くことの重要性を再確認した。</p>
3	<p>デイサービス時、職員Aのご利用者への声のかけ方が感情的で、ご利用者が気分を害された。</p>	利用者	<p>職員Aには一旦、別室で作業をしてもらい、謝罪した後、現場から離れさせた。職員Aから統括主任が聞き取りをした後、統括主任が付き添いの元Aが現場に戻り、改めて利用者に謝罪をした。後日、統括主任が再度、謝罪した。</p>	<p>職員Aに業務の負担がかからないようにするとともに、感情的な行動をとらないように再確認した。</p>
4	<p>特養のご利用者より、職員Bの声掛け、介助の仕方がきつく、怖いと言われる。</p>	利用者	<p>その日は職員Aが職員Bに注意した。後日、職員Bに主任が事実確認をする。自覚していない部分としている部分あり。ご利用者や職員の信頼を回復するために、①言葉使いに注意する。②ご利用者に危険のないケアをおこなうことを再確認した。</p>	<p>職員Bに今後の注意事項を2点伝え、再認識してもらった。</p>